

福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会第3回会合及び研修会



連絡会で挨拶する星局長

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成28年2月10日（水）、福井市地域交流プラザにおいて、福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山川 修 福井県立大学学術教養センター教授）の第3回会合を開催し、構成員等32名が出席しました。

冒頭、星局長が「昨年4月、福井駅において、早朝7時から「春のあんしんネットキャンペーン」を実施し、多くのマスコミから取材を受け、効果的に啓発活動が実施できたと聞いている。平成28年度も「春のあんしんネット・新学期一斉行動」、地域レベルのセミナーや講演会、e-ネットキャラバン等を本連絡会と密接に連携して取り組み、青少年のリテラシー向上に努めていきたい。」と挨拶しました。

連絡会では、山川座長の進行により、設置要綱の改正、平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画が承認されました。また、総務省から青少年の安心・安全なネット利用に関する取組について説明したほか、構成員の取組では、福井県教育庁高校教育課から「ふくい脱スマホ高校サミット」の取組について説明がありました。

さらに研修会では、構成員のほか学校、青少年育成団体等の関係者を加えた51名が参加し、朝倉 孝之 氏（株式会社ディー・エヌ・エー システム本部 カスタマーサービス部）が「インターネットやスマートフォンでのトラブル事例と回避策について」と題して講演しました。引き続き、山川座長の進行により意見交換が行われ、参加者から各事業者が未成年を監視しているとのことだが未成年の判断はどのようにしているのか、生徒がアカウント情報を忘れたためにネットの情報を消せない時の業界の相談窓口はあるのか、本日のような講座は生徒向け、保護者向けのどちらが多いのか、講座を希望する場合はどこに申込みれば良いかなど多くの質問が出されました。最後に、座長から「学生のネットの危険性についての意識は高まっており、保護者に入学説明会等の機会を捉えて講座に参加してもらうことが必要。工夫を持って、保護者への学習を促進させることが重要である。」と締めくくりました。



座長の福井県立大学の山川教授



連絡会の第3回会合



講演する講師の朝倉 孝之 氏



多くの関係者が参加した研修会